「個人調査書」作成上の注意（保護者又は保証人作成）

１　記入上の注意

（１）令和８年１２月１日までの事項を記入する。

（２）黒のボールペンで記入し、誤記を訂正する場合はインク消し等は使用せず、二重線で訂正し、記載者が訂正印を押す。

（３）性別は、該当する一方の文字を〇で囲む。

（４）住所欄には住民票のとおりの住所を記入する。

（５）保護者の現住所が本人の住所と同じである場合は、「本人に同じ」と記入する。

（６）「教育歴」は、保育所、幼稚園、学校等、古い方から順に記入する。

（７）「手帳」は、取得又は申請中のものすべて記入する。無い場合は、「無」の文字を〇で囲む。

（８）「障害について」の欄の結果及び所見は、医学的専門的診断に基づき記入し、診断した検査機関名も記入する。
【てんかん発作、肢体まひ、聴覚の障害、視覚の障害、医学的治療・訓練、服薬、アレルギー】に関する項目は、該当する一方の文字を〇で囲み、その内容を記入する。

（９）「興味・関心・特技等」「行動・性格面」「家庭で留意していること」「学校で指導する際に留意してほしいこと」の欄は、できるだけ具体的に記述する。

(10) 「高等部入学後の通学方法」は、該当する一方を〇で囲み、他の方法を希望している場合は、その他の項目に内容を記入する。

(11) 「最寄りの停留所又は駅」は、通学方法に関わらず、最も近い箇所を記入する。

(12) 「高等部卒業後の希望進路」は、現在の希望を記入する。
例）一般事業所への就労　　通所施設希望　　入所施設希望
　　グループホームを利用して生活的自立を目指したい　　など

(13) ※欄は、記入しない。

（注）保護者又は保証人の直筆で記入してください。